

水土里レポート

投稿月日	令和3年9月27日（月曜日）
タイトル	田んぼの学校（収穫作業）
水土里レポーター名	小野寺 孝 一

田んぼの学校収穫作業

令和3年9月26日（日）

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令中（北海道）なので町内の小学生・中学生たちが収穫（刈り取り体験）出来ず、田んぼの学校（1.9ha）舟山賢治校長がコンバインにより3時間ほどで「きたくりん」を収穫しました。

2年連続新型コロナウイルス感染症拡大防止で田植えも稲刈りも体験出来ませんでした。

ほ場にコンバインのエンジン音じゃなく、早く子どもたちのにぎやかな声が聞けるよう願っています。



秋晴れの中で収穫作業が進む



トラックに積み込まれ貯蔵施設に運ばれる

今年のお米の品質は小粒だが食味はとても美味しいです。夏の高湿少雨の影響でしょうか？
刈り取ったお米（7トン）は粳のままJA当麻の粳貯蔵施設に預けられ、その度に精米して町内の小学生・中学生（420名）の給食に賄われる。

来春までには新型コロナウイルス感染症が収束し、田植祭・収穫祭を実施したいです！！